

地方幹線物流・トラックドライバーの働き方改革の共創

～エバラ食品・サッポロホールディングス・JPRによる3社連携～

日本パレットレンタル株式会社(代表取締役社長:加納尚美、本社:東京都千代田区、以下JPR)は12月11日(水)から、エバラ食品工業株式会社(代表取締役社長:宮崎遵、本社:神奈川県横浜市、以下エバラ食品)、サッポロホールディングス株式会社(代表取締役社長:尾賀真城、本社:東京都渋谷区、以下サッポロホールディングス)の3社共同で、岡山エリアと大分・福岡エリア間の共同輸送を開始します。

■3社共同輸送のポイント

厳しい地方間輸送の安定化

従来、3社はそれぞれ片道の輸送を各社で手配し製品を陸送していました。しかし、昨今の少子高齢化、トラックドライバー不足から岡山エリアと大分・福岡エリア間500km以上の片道の運行をそれぞれで確保することが困難になることが予想されました。そのため、3社で協業し岡山と大分・福岡エリア間でラウンド運行(※1)することで**地方の幹線輸送の安定確保**を図ります。

(※1)ラウンド運行とは、複数の輸送ルートを組み合わせて空車区間を減らし、当該区間内の輸送を効率化する手段のこと。

実車率向上とCO2排出量の低減

岡山エリアと大分・福岡エリア間では海上や鉄道へのモーダルシフトが難しく、現実的にはトラック輸送がほぼ唯一の輸送手段となっています。しかし、安定した物量がないため、①帰りが空荷になる、②帰り荷の確保のため大阪エリアなど荷量の多いエリアに移動する必要がある、③帰り荷が出るまで数日のタイムラグが生じる、等の問題から「輸送の効率化」が課題でした。

2019年7月からのテスト期間では、大分から岡山そして福岡に戻るルートを3日でラウンド運行し、行き荷・帰り荷ともに固定化させることで実車率99%以上(※2)を実現しました。これにより、個社単位での輸送時より、全体でCO2排出量を約15.2t低減させることができました。今回の取り組みにより、輸送の効率化を最大化するとともに、環境負荷低減を実現します。

(※2)実車率とは利用効率を示すもので、全走行距離に対して、荷物を載せ走行した距離の占める割合のこと。国土交通省発表による一般的な実車率は40%。

ドライバーの労働環境改善と女性・高齢ドライバーの活躍機会を拡大

運行ルート、運行スケジュール、輸送商品、車両を固定化し、フォークリフトによる機械荷役を徹底することで、**ドライバーの労働環境改善と作業負荷軽減**を図ります。運転以外の手荷役等の作業をなくすことで、女性や高齢ドライバーなど幅広い方にご活躍いただける環境を整えます。

現在、3300の法人・63000を超える拠点で年間のべ4500万枚以上のJPRレンタルパレットをご利用いただいています。パレットの動き＝荷物の動きを知るJPRだからこそ、お客様同士をつなぎ、物流効率化・省力化のご提案を行っております。今回の案件で、JPRがご提案をしてお客様同士をつないだ「共同幹線輸送」の事例は3例目(※3)となります。JPRは今後も、持続可能な物流網の構築を進めることで、物流業界の抱える課題解決に貢献してまいります。

(※3)詳細は、過去リリースをご確認ください。

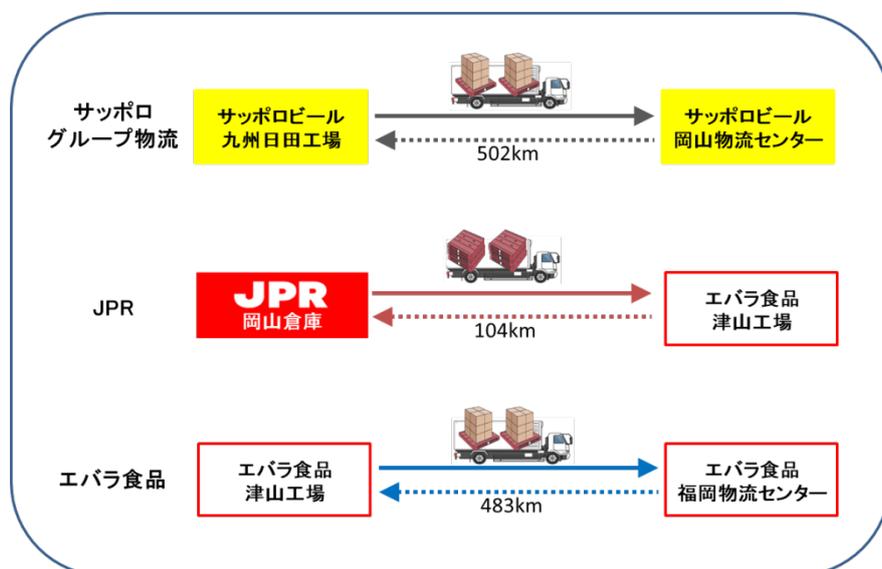
JPR・キューピー・ライオンとの事例 (https://www.jpr.co.jp/release/20180822_kyodokansenyuso.pdf)

JPR・キューピー・サンスターとの事例 (https://www.jpr.co.jp/release/20190717_sansha-kyoudokansenyuso.pdf)

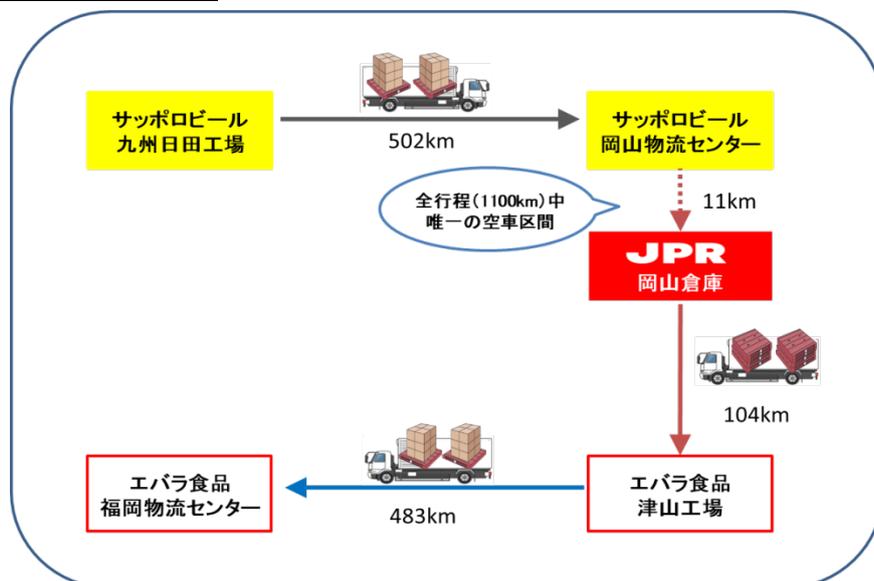
【取り組み概要】

1. 運用面について／運行ルート図

従来 各社が10トン車を用い陸送



今回の取り組み 3社が10トン車を用い効率的に輸送



2. 積載対象商品

JPR : 物流機器(輸送用レンタルパレット)
エバラ食品 : 加工食品、調味料
サッポロホールディングス : 酒類、飲料

以上

■ このニュースに関するお問い合わせ先

日本パレットレンタル株式会社 経営企画部 広報グループ

Tel: 03-6895-5200 / Fax: 03-6895-5201 / Mail: pr@jpr.co.jp / URL: <https://www.jpr.co.jp>